

## コロナ禍、 「一工夫」でつながりを



### オンライン連携に取り組みます

コロナ禍で施設訪問など、「顔の見える」連携が行いにくくなったこの一年でしたが、「オンライン」を活用した連携を始めていきたいと思えます。

3月3日には、他の病院さんからお誘いを受け、オンラインにて懇談を行いました。また3月10日には、松原病院さんと定期的に開催している「MJカンファレンス」

を初めて「オンライン」にて開催し、久々に様々な機関からも参加いただくことができました。

今年度は、コロナ禍で双方困っていることなどを検討できる場として「オンライン連携」を積極的に活用していく予定です。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

### 面会禁止の中「病棟だより」を発行しています



新型コロナウイルス感染予防のため、長い間「面会禁止」を継続せざるを得ない状況が続いています。そんな中、少しでも患者さんの様子をご家族に届けようと、医療療養病棟中心に「病棟だより」の発行を行っています。病棟の様子や病棟担当スタッフの紹介をしたり、患者さんお一人ずつの様子を写真入りで紹介するなど、それぞれの病棟が工夫しながら、取り組んでいます。一日も早くこの状況が収束することを願っています。

### 私たちが めざすもの

#### 医療福祉宣言 城北病院 城北診療所

私たちは、ヘルスプロモーションホスピタルとして地域の皆様、他の病院や施設と共同してネットワークをつくり、無差別・平等の地域包括ケアを実践し、平和で安心して住み続けられるまちづくりに努めます。

発行 城北病院 医療福祉連携相談室

〒920-8616 金沢市京町 20-3  
TEL 076-251-6111 FAX 076-208-5231  
http://johoku-hosp.com  
E-mail renkeisitu@johoku.jp



医療福祉連携相談室だより

# Jo-HOKU No.59

2021.5.15 spring



城北病院 院長 大野 健次

## 感染症に強い医療体制の構築を

4月20日現在、新型コロナウイルス感染状況は第4波に入り、石川県内でも4つの病院のクラスターが起っている状況で戦々恐々とした状況になっています。この新型コロナウイルス感染のパンデミックが起こることにより、日本の医療体制の脆弱さが露呈したように思います。行政改革で1994年に847あった保健所は2020年には469と半減してコロナの対応に支障をきたしています。2025年問題がもうすぐですが、地域医療構想においてベッドの削減方向に向かっている最中に新型コロナウイルス感染拡大がおきました。当院でも診療報酬改定により7対1看護の維持が困難となり、10対1に落とさざるを得ないことになりました。10対1の看護体系では感染症に対応するのが困難な状況になってきています。今後は地域医療構想を見直し、診療報酬をアップして感染症に強い医療体制の構築が必須と考えます。コロナ禍において時限的に取り入れられた補助金や診療報酬があり、新型コロナウイルス感染患者をみている病院は優遇されている面がありますが、継続的で全体的な診療報酬の見直しが必要です。新型コロナウイルスワクチンも医療従事者から開始され、当院でも始まっていますが世界と比較してかなり遅れているのが現状です。本来であれば行政が中心となりワクチン接種を推し進めるのが必須と思いますが、各医療機関まかせとなっています。このような体制では、PCR検査がすすまなかったのと同様の事が起きかねません。

当院は2020年6月に現地建て替えが終了し、HCU病棟、一般急性期病棟、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、医療療養病棟、緩和ケア病棟と、急性期から慢性期や終末期 また小児から高齢者までみることができるよう病院として生まれ変わりました。コロナ禍で大変な面もありますが、今後も地域に密着した形で頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。